

議題 2

平成 26 年 7 月 9 日
 学校教育部指導第二課

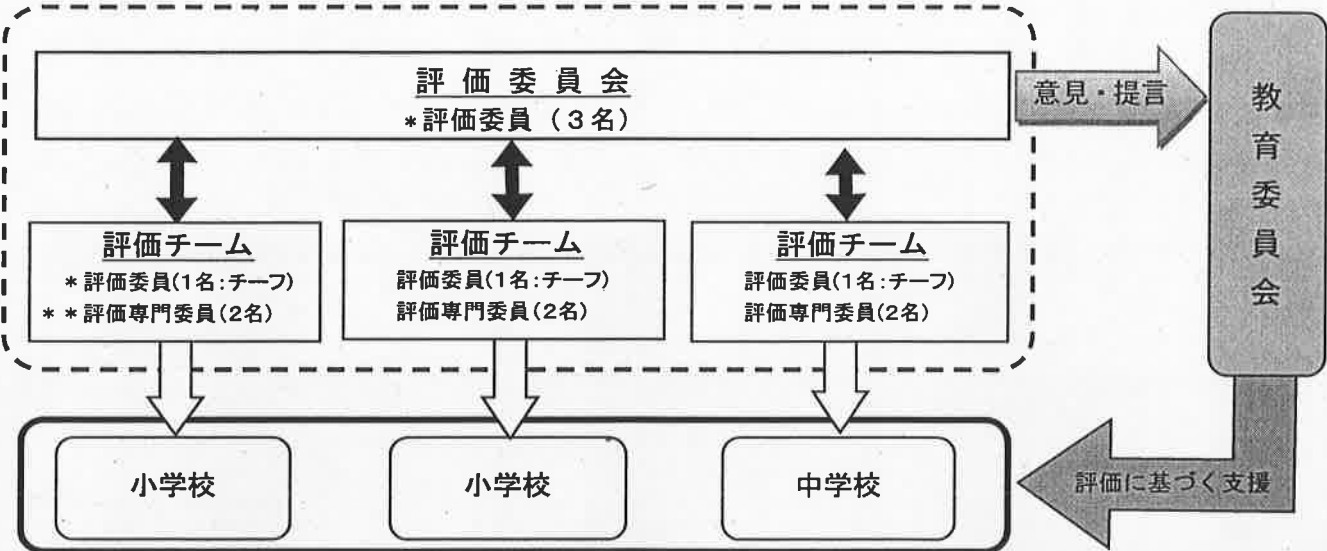
平成 26 年度 専門家評価（専門家による第三者評価）について

1 目的

各学校が主体的に行う評価活動（自己評価・学校関係者評価）や教育委員会の支援について評価し、学校及び教育委員会に対して、その改善に向けた意見・提言を行うことにより、適切な学校の取組や教育委員会の支援を促進する。

2 実施体制

（イメージ図）



- * 「評価委員」
 学校評価及び学校経営を含む学校教育について専門的な立場で評価することができる者で、学校及び教育委員会の運営に直接関係がない者
- ** 「評価専門委員」
 教育に関する様々な分野の専門家で、学校及び教育委員会の運営に直接関係がない者

3 対象校等（高陽中学校区）

対象校	評価及び意見・提言の希望	
高陽中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と生徒の信頼関係を築く学校運営について ・ 生徒指導の三機能を生かし、特別支援教育の視点に立った授業づくりについて ・ 学習環境の整備状況について 	各学校における課題・特色を踏まえた、効果的な小中連携の取組について
狩小川小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価（自己評価）の指標及び評価の客観性や妥当性について ・ 「規範性をはぐくむ教育」リーディング校、「平和教育プログラム」実践協力校としての取組の成果について ・ 「聴き合い・伝え合い・学び合う」授業づくりについて 	
深川小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員が一体化した組織的な学校運営について ・ 豊かな人間関係と規範意識を高める授業づくりについて ・ 学習環境の整備状況について 	

4 スケジュール

時期	内 容	担 当
4 月	・ 専門家評価実施の通知、希望の受付	教育委員会
5・6 月	・ 参考資料の収集・分析、対象候補校の選定	教育委員会
	・ 評価委員の選定	〃
	・ 教育委員会(必要に応じて対象候補校)からの意見聴取、対象候補校の資料の分析	〃
	・ 対象校の決定 ・ 対象校から意見聴取	〃 〃
7 月 ～ 10 月	・ 目的・項目の決定、評価専門委員の選定・評価チームの編成 ・ 評価計画の策定 ・ 対象校及び教育委員会から意見聴取 (必要に応じて資料要求) ・ 学校訪問調査 ※学校関係者(校長・教職員、保護者、教育委員会等)へのヒアリング及び観察等 (教育委員会議への中間報告)	評価委員会 評価チーム 〃 〃
11・12 月	・ 評価報告案の作成	〃
1・2 月	・ 対象校及び教育委員会から意見聴取 ・ 評価報告の決定、評価対象校及び教育委員会に評価報告	評価チーム 評価委員会
3 月	・ 評価報告の意見・提言についての検討(改善策、支援策、中学校区全体への意見・提言)及び検討結果の評価委員会への報告	評価対象校・教育委員会
翌年度 以降	・ 教育委員会議報告(評価報告) ・ 改善策の実施、支援策の実施 ・ 自己評価・学校関係者評価で改善状況の評価(教育委員会への報告) ・ 改善策の見直し、支援策の見直し	教育委員会 評価対象校・教育委員会 評価対象校 評価対象校・教育委員会

5 評価委員

委員名	所属・役職	備 考
委員長 林 孝	広島大学 大学院 教育学研究科 教授 (附属東雲小・中学校長)	・平成 20・21 年度 副委員長、平成 22・23・24・25 年度委員長 ・広島市学校評価システム第三者評価検討会議 会長職務代理(H18・19)・試行部会 部会長(H19) ・広島市教育委員会事務点検・評価会議 専門委員(H20・21・22) ・平成 25 年度広島市教育委員会事務点検・評価に係る指導助言者
副委員長 高妻 紳二郎	福岡大学 人文学部教育・臨床 心理学科 教授	・平成 23・24・25 年度 副委員長 ・広島市学校評価研修講座 講師 (H20) ・広島市学校評価指導者研修講座 講師 (H20) ・広島市学校評価の充実・改善のための実践研究(文科省委託) 指導助言者 (H20) ・学校評価研修講座 講師 (H24)
副委員長 曾余田 浩史	広島大学 大学院 教育学研究科 准教授	・平成 20・21・22 年度 評価委員、平成 23・24・25 年度副委員長 ・広島市学校評価システム第三者評価検討会議 委員(H19) ・広島市教育委員会事務点検・評価会議 専門委員(H20・21・22・23・24) ・平成 25 年度広島市教育委員会事務点検・評価に係る指導助言者